

先進事例 紹介

ちば消防共同指令センター 業務開始！

千葉県 ちば消防共同指令センター

はじめに

ちば消防共同指令センターの整備につきましては、平成17年9月に、千葉県が主体となり、県下全31消防長を委員とした「千葉県消防救急無線広域化・共同化及び消防指令業務共同運用推進協議会」を設置、調査研究に着手して以来7年半を経て、この度運用を開始しました。

センターでは、千葉県北東部・南部の20消防本部が、最新鋭の情報通信技術を集約した高機能な「指令管制システム」と、県域整備した消防救急デジタル無線を活用し、119番通報の受信や出動指令など、消防指令業務を共同で運用しております。

これにより、隣接市町村への応援や広域災害等の発生時に、迅速的確に対応する体制が確保されました。

消防指令センター共同運用（ブロック）



受持ちは、千葉県面積5,157km²の88%となる千葉県北東部南部地区の4,544km²、また人口は、千葉県人口約624万人のうち、約318万人をカバーしております。

ちば消防共同指令センターの特徴

ちば消防共同指令センターには、広域災害への効果的な対応をはじめ、構成消防本部間の連携強化、人員配備や施設などの効率的な運用、消防体制基盤の強化など、様々なメリットがあります。

特に消防指令業務の共同化において、大きく期待を寄せられていることの一つに、「応援出動体制の強化」があります。

以前の単独指令センター時代では、消防本部内の対応車両がなくなった場合、各々の指令センターで情報を相互伝達し、調整した後の出動であったため、応援出動のコーディネートに多くの時間を割いていました。

しかし、指令系統が一本化された結果、消防本部相互の応援出動に要した時間が大きく短縮されました。

また、救命に不可欠な救急事案についても、一定条件のもと共同指令センターで判断し、隣接した消防本部相互の応援出動が可能となりました。

これは、隣接市町村の境界から一定距離を設定し、この範囲内で発生した救命事案である等の条件が合致した場合に、消防本部の枠を超えた直近の救急隊を選別し、受援側消防本部の消防隊と合わせ出動させるものです。

このような各種応援体制の強化により、より一層の救命率の向上が期待されております。

システムについて

正確な情報確認と迅速な指令伝達を図り、通報から現場到着までの時間短縮と的確な現場活動を実現するために、先進的技術を盛り込んだ最新鋭



の指令センターを整備しました。

次に新しく整備又は強化された機能の一部を紹介します。

・ 出動車両運用管理装置

GPSを活用して、20消防本部の消防・救急車両の位置情報を把握、これをもとに、災害地点を特定すると同時に、管轄する消防本部の最も近い部隊を自動的に編成します。

従前のシステムでは、直線距離測定により車両の選別を行っていましたが、このシステムでは、道路幅員や道路ごとに設定された時間情報と、車両種別ごとに設定した車幅情報を活用し、道のり時間による直近選別を行っているため、より精度の高い車両運用を実現しました。

・ 消防団メール指令システム

消火活動をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、避難誘導など、各地域の災害防ぎよに大きな力となる消防団との連携強化のため、消防団へのメールによる指令システムを導入しました。

消防隊への指令と同時に、あらかじめ登録された消防団員や職員に災害情報をメールで一斉配信し、消防団の円滑な出動体制を確保します。

・ 3者通話ヘルプ機能

ちば消防共同指令センターは、20消防本部から派遣された職員で構成されており、指令管制員は、土地勘の無い地域からも119番を受け付けることになり

ます。

万が一、共同指令センターの指令台で通報場所を特定できない場合、各消防署に設置した「119番ヘルプ（災害点特定支援）機能を使用して、通報者、指令管制員、現地の消防署員の3者通話により、消防署で災害点を特定することができます。

おわりに

この規模での消防指令業務の共同化は、構成消防本部数、受持ち面積ともに国内初であり、手探りのなかスタートした本事業も、試行錯誤と数多くの調整、会議を重ね、また、3者通話ヘルプ機能や消防救急デジタル無線との高度な連携機能など、最新の技術に支えられ、本年4月1日の正式運用を迎えることができました。

千葉県では、北西部の11消防本部につきましても、本年4月18日に松戸市他5消防本部が消防指令業務の共同運用を開始しており、平成32年には、北西部11消防本部が揃って共同運用を行う計画となっております。

2センター体制が整備された際には、障害時のバックアップなど、相互の連携による消防防災体制の一層の充実強化が期待されます。

最後に、本事業の推進にあたり、総務省消防庁様をはじめ、千葉県様、千葉縣市町村総合事務組合様、千葉縣市町村振興協会様、日本消防設備安全センター様など、関係各位に一方ならぬご支援とご協力を頂きましたことに深く感謝し、紙面を借りてお礼申し上げます。